



謎 その1 猿供養寺伝説

山寺五山のひとつである乙宝寺に、2匹の猿が熱心にお経を聞きに来るようになり、やがて木の皮に写経をしてもらった。猿はそのお礼に山芋を持ってきてくれていた。

ところが、ある日突然、猿が姿をあらわさなくなり、不思議に思った僧が探しに行ってみると、猿が山芋を掘るための穴に落ち、足だけが出して死んでいた。僧は非常に悲しみ、その供養のため寺を建て「猿供養寺」と名付けたという。

謎 その2 山寺三千坊伝説

西暦700年頃に丈ヶ山を中心として「山寺三千坊」（山岳仏教の中心地）が栄えた。その後、地すべりや焼き討ちにより、今では山寺薬師などごく一部の建築物や遺跡が残っているに過ぎない。

往古多くの寺院があり栄えたのは事実だが、果たして三千もの寺があったのかはわからない。古代越後国の地方政府（国府）の位置も史実として明らかではなく、板倉が国府であったとの説もあり山寺三千坊の謎とともに興味深い。



謎 その3 地すべりと人柱伝説

昔、盲目の僧侶が黒倉峠を越えて寺野村に入ろうとすると、数匹の大蛇たちが「地すべり」を起こし、川の水をせき止め、大きな池を造ろう」という相談をしていた。

大蛇に見つかった僧は、「他言すれば殺す」と言われて放たれる。猿供養寺まで来ると、村では地すべりに困り果てていた。僧は大蛇の計画を村人に話し、どうせ命はないものと、自ら進んで人柱となって村を守った。

地すべりを防ぐための人柱伝説として語り継がれてきたが、1937年（昭和12年）の春、伏せられた瓶の中に座禅を組んだ人骨と小銭が言い伝え通りに発見され、大騒ぎになった。人柱伝説は本当にあったのだ。

「寺野の歴史を語る会」

設立主旨

旧板倉町（現・上越市板倉区）寺野地区のくらしや地すべりに関する言い伝えと謎に包まれた歴史に口曼を感じ、その謎に一步一歩、楽しみながら迫っています。

また、地域の歴史的遺産を語り継ぐために「地すべりと古代歴史の散歩道」を計画し、その実現のために活動しています。

今後の事業推進予定

1. 「地すべりと古代歴史の散歩道計画」事業の推進
(地すべり資料館、やすらぎ荘を中心に)
2. 丈ヶ山山頂までの散策道・修行の道の整備
(栗沢上り口・猿供養寺上り口・筒方上り口の3方向)
3. 丈ヶ山群生植物の保護と増殖（一輪草・ヤマボウシなど）
4. 人柱供養堂、山寺三千坊、恵心尼（信連坊）など歴史の検証と跡地の整備

連絡先

電話 0255-78-3755
代表世話人／三浦栄一






猿供養寺 砂防フィールド ミュージアム

Sabo Field Museum

ここは地すべり地。
くらしも文化も「地すべり」という
自然がさまざまな形で関わっています。
土地の自然や暮らしづくり、防災の知恵、
歴史や文化など、あらゆるもののが
フィールドミュージアムの展示物です。



寺野の歴史を語る会
(新潟県上越市板倉区)
平成24年6月v.



地すべり地の自然とくらし

① 丈ヶ山（山頂）標高571.6m



山頂に人為的に造られたと考えられる四角い盛り土部分がある。昔偉いお坊さんが説教した戒壇の可能性があり、発掘調査を行っている。

（「寺野の歴史を語る会」による）

② 地すべり資料館



地すべり地の上に設けられた学習施設。

③ 人柱供養堂



昭和12年に瓶に入った人骨が発掘され、地すべりを止めるために人柱になった旅の僧の伝説は本当であったことがわかった。僧の靈を慰めるために供養堂が建てられた。供養堂には発見された人骨と瓶が安置されている。

④ やすらぎ荘

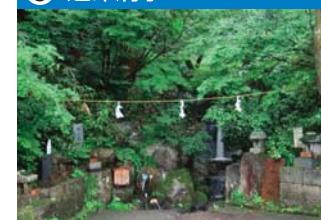


地すべり対策工事で出た2つの温泉を利用した保養施設。地域振興の拠点となっている。

歴史ゆかりの地

今から1300年ほど前、丈ヶ山の周辺は山岳仏教の地として栄えた。山寺薬師堂は山中に開かれた山寺5山の1つ、乙宝寺が戦災で焼失した跡地に再建されたと言われる。209段の石段を登った丘の上にある。薬師堂には三如来が祀られている。1395年寄進されたという。

⑤ 山寺薬師



薬師堂の脇のわき水。現在も水を汲みに来る人が絶えない。

⑥ 延命清水



顯城地方で年が刻印された最も古い塔として旧板倉町の文化財に指定された。宝篋とは、ありがたいお経を収める箱という意味で、塔を建てることで大きな功徳があるとされた。

⑧ 栗沢の恵信尼顕彰碑



惠信尼公に最も縁が深い地とされ、歌碑などが建立されている。

⑨ 聖の窟



天平年間、裸形上人が山岳仏教のためにこの地にきて窟で修行したのが始まりと言われている。窟は前方入り口が崩れてしまっているが畳数枚分の広さがあり十人程が座れたと考えられる。

（案内板による）



14 地すべり試験地跡



昭和36年から当時の建設省土木研究所新潟試験所の試験地として地すべりの移動量観測を始め数々の観測や試験が行われてきた。

会の活動・整備ポイント

13 猿供養寺跡



乙宝寺の僧が2匹の猿の供養のため建てたという伝説の寺。その推定場所。

（「寺野の歴史を語る会」による）

12 猿終焉の地と御神木



登山口のすぐ上有る。猿の写経伝説に登場する2匹の猿が山芋を掘るために穴に落ちて死んだとする推定場所。

（「寺野の歴史を語る会」による）

11 丈ヶ山登山口



猿供養寺入口。登山道の整備・道標の設置・ヤマボウシ等の植樹などが行われた。

10 栗沢登口



階段は県が整備し、語る会がメンテナンス。聖の窟から丈ヶ山山頂までの急峻な登山道を語る会で整備中。